

准教授就任

健康増進医学講座 健康栄養医学

山本 明子



〈略歴〉

- 平成5年3月 大阪医科大学卒業
 平成5年5月 安城更生病院 研修医、内科勤務
 平成9年5月 大垣市民病院勤務
 平成10年10月 名古屋大学医学部医学系研究科研究生
 平成12年4月 名古屋大学大学院医学系研究科博士課程病態内科学講座
 病態修復内科学専攻入学
 平成16年4月 国家公務員共済組合連合会東海病院消化器内科勤務
 平成17年4月 名古屋大学総合保健体育科学センター 助教
 平成22年4月 名古屋大学総合保健体育科学センター
 (大学院医学系研究科健康栄養医学分野) 准教授

〈業績〉

1. Stewart AK, Yamamoto A, Nakakuki M, Kondo T, Ishiguro H, et al. Functional coupling of apical $\text{Cl}^-/\text{HCO}_3^-$ exchange with CFTR in stimulated HCO_3^- secretion by guinea pig interlobular pancreatic duct. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol* 296: G1307-17, (2009).
2. Yamamoto A, Naruse S, Ito M, Ishiguro H, Goto H, et al. Acute tubulointerstitial nephritis associated with long-term gemcitabine therapy. *Pancreas*, 34, 378-379, (2007).
3. Hamada H, Ishiguro H, Yamamoto A, Shimano-Futakuchi S, Naruse S, et al. Dual effects of n-alcohols on fluid secretion from guinea pig pancreatic ducts. *Am J Physiol* 288, c1431-1439, (2005).
4. Yamamoto A, Ishiguro H, Ko SBH, Hayakawa T, Naruse S, et al. Ethanol induces fluid hypersecretion from guinea-pig pancreatic duct cells. *J Physiol*, 551, 917-926, (2003).
5. Yamamoto A, Nakano S, Takeda I, Kumada T, Kiriya S, et al. Development of insulin-dependent diabetes mellitus after acute pancreatitis. *Pancreas* 26,398-401, (2003).

平成22年4月1日付けで、名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学分野の准教授を拝命致しました。名古屋大学医学部学友会の皆様にご挨拶申し上げます。

私は平成5年に大阪医科大学を卒業し、安城更生病院で2年間の初期研修を行いました。医師としては右も左もわからない時代に多くの諸先生方の教を請い、なんとか研修を終えることができました。研修中に内科に進むことを決め、外科系の科も考えていた私としては、内科の中でも特に興味を惹かれたのが外科的要素も含む消化器内科でした。今は亡き市川正章先生のもと、食欲に消化器病学を学ぼうと日々懸命に精進していた(と私は思っております)頃が、つい昨日のように思われます。消化器内科でさらに2年間を過ごさせていただいた後、大垣市民病院消化器内科に勤務させていただきました。大垣市民病院では当時の中野哲院長にご指導いただき、

消化器内科の中でも特に膵臓に興味を持ち、膵臓の研究室に入局させていただき、平成10年に名古屋大学に研究生として帰局させていただきました。大学では、当時の早川哲夫教授のご指導のもと、膵癌や急性膵炎、慢性膵炎といった膵臓の病気の診療を中心に従事させていただきました。また、それまで、安城更生病院、大垣市民病院での勤務で、臨床一色であった私としては、膵臓の生理学といった研究の世界に心惹かれ、大学院に入学させていただきました。大学院では、早川教授、膵臓研究室のチーフであった成瀬達先生や留学から帰国されたの石黒洋先生(現総合保健体育科学センター教授)のもとで、アルコールと膵外分泌についての研究を小動物の膵臓を用いて行いました。現在も、この膵外分泌についての生理学的メカニズムについては研究を続けております。平成16年4月からは、国家公務員共済組合連合会東海病院消化器内科に勤務させていただき、丸田真也先生(現東海病院診療部長)から、1年間の短い期間ではありましたが、消化管疾患について多くを学ばせていただきました。

平成17年4月からは、近藤孝晴前教授のもと総合保健体育科学センターにて勤務を開始させていただきました。平成18年の10月から約2カ月間イギリスでの研究を行う機会を与えていただき、マンチェスター大学生理学教室で客員研究員として、小腸での脂肪酸のセンシングメカニズムについての研究をさせていただきました。この研究についても、マンチェスター大学との共同研究を現在も続けております。保体センターの業務としては、学生、職員の方々の健康管理や健康相談を中心に行わせていただいております。毎年行われる学生健康診断のレントゲン写真では、気胸が毎年発見され、呼吸器内科の先生方には緊急の対応をしていただくこともあり、大変お世話になっております。また、健康管理や健康相談に加え、本年度からは、全学教育科目授業の健康・スポーツ科学講義を担当しております。もとより、浅学非才の身ではありますが、少しでも学生の健康増進や病気の予防につながるような知識を与えることを目標として授業を行っていきたく思っており、頑張っております。今後とも、学友会の諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。